

ついにやって来た!

白旗山にプレ大会を見に行こう!!

2007年のFIS（国際スキー連盟）ノルディックスキー世界選手権札幌大会のプレ大会となるワールドカップスキーのクロスカンントリーとノルディックコンバインド競技が、いよいよ始まります。

このプレ大会の概要は広報さっぽろ1月号全市版の5ページでお知らせしましたが、今回は、私たちの地元・白旗山で開催される競技に注目して、その競技日程や見どころなどをご紹介します。

1 知っておこう

白旗山競技場での競技日程!

白旗山での競技開始は両日とも、正午からです。

3/18 ■正午～ **複合** マススタート (10km) 【後半のジャンプ競技は午後5時から】

(土) ■午後2時～ **クロ** 男子・女子チームスプリント (1,200m×6周)

■正午～ **クロ** 女子パシュート (15km)

3/19 ■午後1時30分～ **クロ** 男子パシュート (30km)

(日) ■午後3時30分～ **複合** 個人グンダーセン (15km) 【前半のジャンプ競技は午前10時から行われています】

クロ: クロスカンントリー **複合**: ノルディックコンバインド

※ジャンプ会場は大倉山ジャンプ競技場です。

世界ノルディック2007
マスコットキャラクター
ノルッキー
NORKEY



2 覚えて役に立つ

プレ大会の主な競技ルールとマメ知識

チームスプリント

1カ国2人の選手が交互に1,200メートルのスプリントコースを走り、合わせて6周します。

チームスプリントは短距離レース。トップレベルの選手は、平地のフリー走法で時速30キロぐらいのスピードで走ります。



グンダーセン方式

ジャンプの飛距離点と飛型点の合計をタイム差に置き換え、その後の距離競技では、成績の良い選手から順にスタート。ゴールの着順がそのまま順位になります。

国際大会のほとんどが接戦になり、ゴール前の100メートルが勝負。とてもエキサイティングで見ごたえがありますよ。



※3月18日のノルディックコンバインド競技はマススタート（一斉スタート）で距離競技を行い、タイム差をポイントに換算。後半のジャンプ競技で順位が決まります。

パシュート

距離の前半を左右のスキーを平行に保ちながら前後に動かすクラシカル走法で走り、中継地点（ピット）でスキーを履き替えた後半はフリー走法でゴールを目指します。

早い選手は、ピットに入って約20秒でスキーを交換し、再びコースに戻ります。



白旗山の山間コースは起伏が激しいコース。体力を回復させることができる緩やかな下りがないので、選手にとってはとても「きつい」コースです。

レース中でも、声援は選手の耳に届きます。たくさんの人から応援されると選手も頑張れると思います。

澁谷 洋子（しぶや ひろこ）さん。

1982年開催の世界選手権オスロ大会のクロスカンントリー競技に出場。現在は真栄中学校で教壇に立つ澁谷（旧姓・金井）さん。ジュニア育成に励む傍ら、スキーマラソン大会などの出場を続け、数々の優勝経験を誇る。



マメ知識提供：澁谷 洋子さん

3 行ってみよう

入場料と交通手段

当日は会場への自家用車の乗り入れはできません。

入場料（1日1会場当たり）

	当日券	前売り券
大人	1,000円	800円
高校生	500円	
中学生以下	無料	

※複合競技を両会場で観戦する場合は、それぞれ入場料がかかります。

※広報さっぽろ1月号の5ページに、当日の入場料が半額になる割引クーポンがあります。



会場までのアクセス

【無料シャトルバス】※競技場直行

①大谷地バスターミナルから随時運行

②清田区無料シャトルバス **注目情報** →

バス停留所「平岡高校」を出発し、「清田区役所」を経由して競技場に向かうバスを約30分間隔で運行します。

詳細：区役所地域振興課まちづくり担当
☎ 889-2400内線252・253

【在来バスを利用する場合】※有料

■大谷地方面から：中央バス **大87** 「白旗山競技場入口」下車 徒歩約35分。

■福住方面から：中央バス **福87** 「白旗山競技場入口」下車（徒歩約35分）または、「アンデルセン福祉村1丁目」下車 徒歩約20分。

